

大峰山系 弥山・八経ヶ岳（双門ルートから行者還トンネル西口）

2015年9月20日(日)快晴 メンバー：佐々木（単独）

心待ちにしていた秋の大型連休。小渋川から百間洞・赤石岳を計画していたが、別件の私用にてキャンセル。

代わりに、帰省先の大阪から大峰山への日帰り山行を計画した。

選んだルートは、弥山川を遡り名瀑が楽しめるらしい双門ルート。山行のテーマは「滝を眺める」とした。

初めて歩くルートで詳細状況が分からなかったため、とりあえずは沢装備も携行して行くことにした。また、下山ルートは、奥駆道出合から行者還トンネル西口へ下山する短時間で安全なルートを選んだ。

アクセス：

浜松からであれば名阪国道からR307・309を経て天川村へ。

みたらい溪谷から川迫川に沿って進み、弥山川が川迫川に合流する地点が「熊渡」。ここが取り付きになる。路側に数台駐車可能だが、この場所はずれ違いの待機スペースでもあり、駐車要領には十分な配慮が必要。

ルートの概要：

熊渡～一の滝

熊渡から林道をしばらく進むと崩落箇所があるものの通行に支障はない。さらに林道を進み、カナビキ谷への分岐を左手に下って行くと弥山川の河原に出る。ここから伏流水の河原がしばらく続く。水流が確認できるようになって暫くすると釜滝に至る。

釜滝からは、右岸の巻き道に入る。巻き道には、鉄筋の梯子やトラバース用の足場が整備されている。いずれも頑丈な作りで通行に危険は感じない。一旦、河原に下りて渡渉し左岸へ移る。

河原からかなり高い位置まで登ったところで立派な吊り橋が現れ、ここから、一の滝、二の滝、三の滝を見上げることができる。



一の滝～双門滝～狼平避難小屋

吊り橋を渡れば、再び長い梯子が連続する。ありがたいことではあるが、あまりにも多くの梯子が連続して出現し辟易する。梯子にいいかげん飽きた頃、迷ヶ岳の切り立った北側斜面が左手に迫ってくる。そこから間もなくして沢の方向に目を移せば、双門滝の絶景ポイントである。

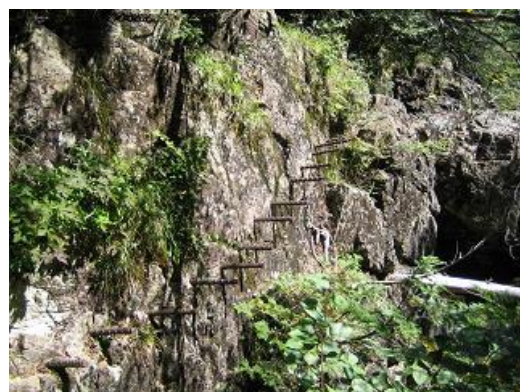
双門滝からもまたまた梯子が連続する。よくぞここまで整備したと感心し感謝もするが、フィックスロープや鎖でも十分と思える場所にも梯子が出現する。



双門滝から尾根道を上り、谷に向けて急斜面を下りると開放感のある沢に出る。ここからは、沢装備での川通しでも良いし、巻き道を使えば登山靴のままでも十分に遡行できる。

今回はあえて登山靴のまま、川通しで気ままに歩いた。数カ所の「へつり」では手がかり足がかりを探って慎重に進んだ。大人しくケルンや赤テープに従って巻き道を使えば、難なく遡行できた筈だが、それではあまりに面白くない。

鉄の吊り梯子や空中回廊と呼ばれている鉄杭のトラバースも出現するが、通過は容易である。むしろ、気が緩みやすいその前後のトラバースや岩伝いに注意すべきであろう。



かなり詰めたかなと思う頃に沢は二股となる。右股を進めば狼平への登山道に辿り着く。ここには、「下山に双門ルートを使わぬように」との注意書きと「平成23年に河原小屋が流失した」とのインフォメーションがある。狼平避難小屋は、合流点から吊り橋を渡ったところにある。とても素晴らしいロケーションに位置するこぢんまりとした綺麗な小屋だ。次回は是非とも泊まりで訪れたい。

ここまでのところ、視界に入った登山者は、私と抜きつ抜かれつした若者が一人だけだった。勿論、下山してくる登山者は皆無だった。



狼平避難小屋から弥山・八経ヶ岳、行者還トンネル西口へ下山

狼平避難小屋から弥山までは約1時間の程よい登りとなる。弥山から八経ヶ岳は往復で50分程度、行者還トンネルへの下山は約2時間といったところだ。いずれも良く整備されたハイキングコースであり、すれ違う登山者も多い。

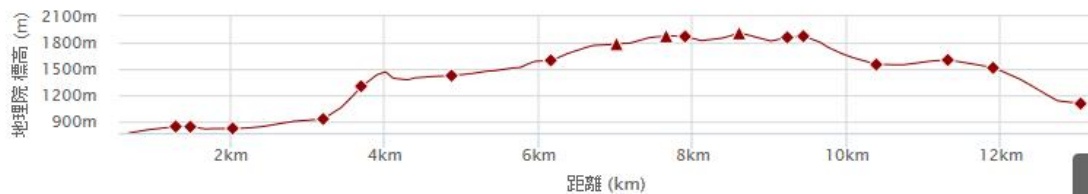
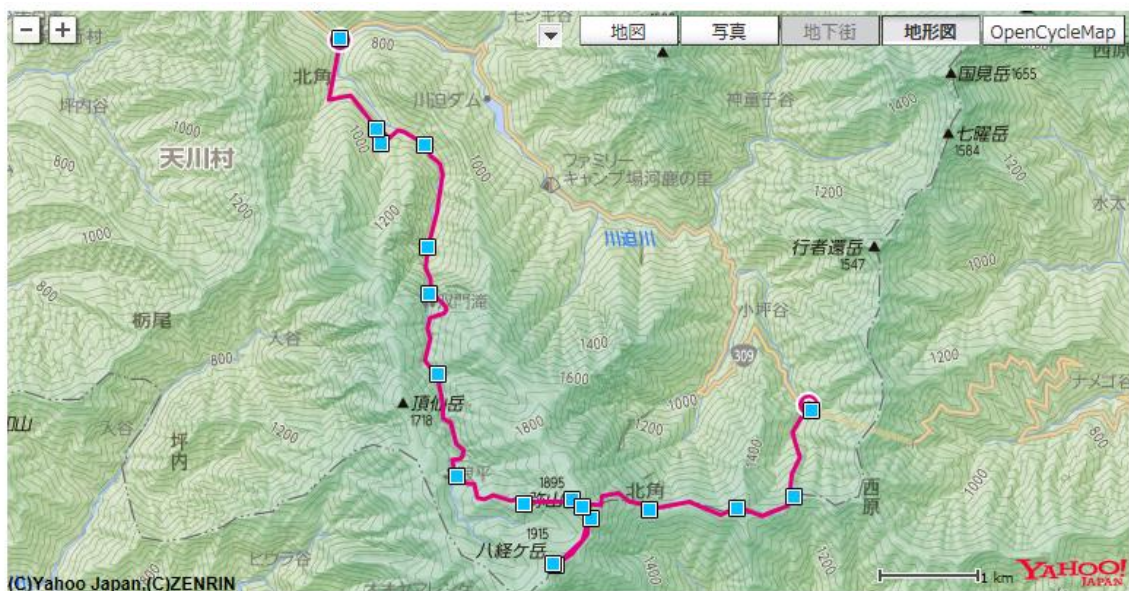
前日にデポしたママチャリで行者還トンネル西口から熊渡まで快適に林道を下り、無事に駐車場へ辿り着いた。



所感

シルバーウィークの二日目、関西の登山者には人気の弥山・八経ヶ岳。この日も多くの登山者が入山していたようだが、マイナーなルートを選択したため静かな山行が楽しめた。双門ルート的前半は、些か多く手が加えられているようにも感じるが、その人工物が無ければ私の登山レベルでは容易に立ち入れない場所でもある。今回、一の滝から三の滝、双門滝を存分に楽しめたのは、そうした登山道整備があればこそと素直に感謝すべきだろう。後半は、様々な登り方をレベルに合わせて選択できる面白いコースだと思う。

行動概要



山行 9 時間 35 分 休憩 1 時間 15 分 合計 10 時間 50 分

熊渡 04:40 05:10 金引尾根・弥山川分岐 05:35 釜滝 05:40 06:30 吊橋 06:35

07:30 仙人岨のテラス 07:40 10:30 狼平避難小屋 10:40 11:30 弥山 11:45

12:10 八経ヶ岳 12:15 12:35 弥山小屋 12:45 13:45 弁天の森

14:05 奥駆道出合 14:15 14:45 行者還トンネル西口 14:50 15:30 ゴール地点

(佐々木 記)